

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ひかりもせうし		2026年 3月 31日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		利用者が活動できる部屋が複数あり、目的や用途に合わせて使用している。	・個別療育、小集団活動など内容に合わせて使う部屋を工夫しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・15人定員に対して6名の職員が関わり、適切である。児発は職員とお子さんがマンツーマンで個別療育出来ている。 職員が足りない時は、療育内容を変更して対応している。 ・特に個別療育について、子ども一人につき職員が一人つくことができているのはとてもいいと思う。	・適切な人員配置ができています。 ・活動中や移動の際には、職員間で声掛けなど連携を取りながらお子様の状態に合わせた対応を行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・イラストなどお子様がわかりやすい視覚支援を行っている。 ・バリアフリーではないが、支障なく活動出来ている。 ・玄関の上り口やトイレなど、現在利用しているお子様にはバリアフリー化は不要と思われるが今後はどうか。	・今後利用されるお子様でバリアフリー化が必要と思われる場合には、福祉用具の使用や改装などを行い配慮していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・消毒、整理整頓などをまめにし、また、危険がないように配慮している。用具配置で、衛生面や安全面への配慮もしている。 ・登所する前に職員で掃除している為、清潔に保つことができていると思われる。また、活動によって部屋を使い分けることができるのが良いところだと思う。 ・季節に合わせた装飾をし、視覚を通じて四季を感じられるよう環境の工夫をしている。	・活動に応じて使う環境を工夫しています。今後も利用されるお子様の状態に合わせて、心地よく過ごせる環境を整えていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・少人数で活動できる部屋が二部屋あり、個別対応出来ている ・部屋の数が多い為、できる限り個別で部屋を使うことができている。 ・お子様それぞれの様子について把握し、対応できている。	・個別の部屋があり、お子様が安心して落ち着いて活動できる環境を整えております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		・業務の見直しなど職員全員が参画して、改善に向けての話し合いができていると思われる。	・朝の打ち合わせや事業所会議などで、業務内容の改善に向けて話し合いを行っています。また、業務内容の偏りや負担が大きくなっていないかなどを定期面談で振り返り確認し改善を図っています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・評価表の意見や結果を受けて、職員間で検討改善に向けて話し合っている。 ・送迎時や面談の際、意向を伺い日々の療育に活かしている。	・アンケートや面談時にいただいたご意見を参考にし、改善に努めてまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・業務改善委員会を設置し、職員の意見を共有、検討し改善につなげている。 ・各会議や打ち合わせの際に、意見を言うことができている。	・職員が全員意見を言いやすい環境を作り、業務改善に努めてまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	・外部評価の実施にはいたっていない。	・現在、第三者による外部評価は行っておりません。 ・外部講師や視察など、広く第三者が事業所を見ていただく機会を作り、様々なご意見をいただける工夫をし、業務改善につなげていきます。

業務改善	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・なるべく必要な研修や希望した研修が受けられるよう、その時間帯の業務内容や職員配置を工夫して受けてもらっている。 ・受けた研修内容を事業所内で共有し、全職員が学ぶ機会を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修だけでなく、社内でも研修をする機会があります。 ・今後も研修に参加できるように、勤務体制を整えて学ぶ機会を確保していきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援プログラムを作成し公表しております。
適切な支援の提供	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・お子様や保護者様からアセスメントをしっかり行い、主訴ニーズを聞き取り計画案を作成している。 ・サービス担当者会議を開催し、保護者からニーズや課題を聞き取ることで、支援計画を作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に面談を行い、お子様の状態や発達課題、保護者様からはご家庭での様子や主訴ニーズを伺い、それを基にアセスメントをし児童発達支援計画を作成しています。 ・今後も丁寧な聞き取りとお子様の把握に努め、支援につなげていきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・サービス担当者会議で職員間で意見を出し合い、お子さんに合わせた支援計画を作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス担当者会議で出た職員からの意見を取り入れて支援計画を作成しています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画は原案の段階から職員間で検討、修正を行っている。 ・レク会議や朝の打ち合わせで活動内容を共有し、日々の療育の中で、計画案にあった活動を提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が統一した支援ができるよう情報共有を行っています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・日々の行動については、支援記録として残している。 ・統一したアセスメントシートを活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員共通のアセスメントツールを使用しています。また、日々の行動観察の中で変化や気になる言動がある際には、職員間で共有し対応の検討などを行っています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・されている。 ・お子様の様子をアセスメントし必要と思われることを入れている。 ・支援内容はどの職員が見ても何をするのが分かり易い記載の工夫をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画には、お子様とご家族の意向の他、長期・短期の目標、3つの本人支援と家族支援、移行支援、地域支援・地域連携の項目を入れて作成しています。 ・支援内容は見て行動できるよう具体的な内容になるよう心掛けています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・朝の打ち合わせやレク会議等で、全員がレク案に目を通し、目的やねらいを確認しながら検討・修正している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月レク会議を開催し、月ごとの内容が5領域に沿った内容になっているか、参加するお子様にどのような配慮が必要かなどを検討しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・似たような活動が続かないかチェックしているが、ねらいや目標の取得に向けて、敢えて定期的に繰り返し行うレクもある。 ・レク会議にて次月のレク確認を行い、同じ活動が続かないように全員で確認している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様が楽しみながら活動できる内容の検討を行っています。お子様の課題に沿った目標やねらいを設け、活動を通じて成長を手助けできるよう努めていきます。 ・活動が固定化しないよう、今後も様々なツールを活用しながら新しい活動を取り入れて行きたいと思います。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・集団活動、個別療育で個々のお子さんに合わせた計画、支援を行っている。 ・他事業所の個別療育を利用しているお子様には、事業所間の情報共有を行い、集団活動に活かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様の発達段階・発達課題に合わせた個別療育、集団療育となるよう計画し、支援を行っています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・会議や当日朝の打ち合わせで内容や役割の確認をし、連携して支援している。 ・内容によっては早い段階から連携を取り準備をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・療育開始時間によって朝の打ち合わせが出来ない場合には前日行うなど、必ず打ち合わせをして情報共有する時間を作っています。

適切な支援の提供	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・終了後や翌日の打ち合わせで振り返り、次回に繋げている。 ・次の日の朝に、前日の反省を全員で行っている。 ・支援終了時、気になったことやお子様の様子について情報共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・終了後、もしくは翌日の打ち合わせで振り返りと反省を行い、次回の活動につなげています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・当日、もしくは翌日中に全員で記載している。 ・活動終了後に、担当児の記録をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記録した内容は、共有システムで常時確認できるようになっており、支援の検証・改善に向けての取り組みに活用しております。また、職員間で話し合う時間を設けることで日々の様子を様々な角度から共有することができています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・6ヶ月毎に行っている。必要に応じて期間を短くして見直すケースもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・6ヶ月毎に保護者様とのモニタリングを行っています。必要に応じて期間を短くして見直すケースもあるなど、お子様の状況・様子に応じて適切にモニタリングを行っています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・児発管、管理者の他、お子さんを担当する職員が参加している。 ・参加した職員が情報を共有してくれるので、どのような内容だったかを知ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もお子様の状況を熟知している職員が参加できるよう体制を整えていきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・保健師を通じて連携体制を整えている。 ・保育園保育士、学校の支援コーディネーターの先生など他機関と情報連携しやすいと感じている。 ・ご家族からのご希望で、医療機関に文書で利用時の様子をお渡しすることがあった。いただいた医療機関からの文書内容を支援に活用することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各関係機関と連携を深めることで日々の支援をより円滑に進めることができています。 ・医療機関とは、ひかりでの様子をお手紙で渡したり、受診時に同行し直接お話をすることもできます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・他事業所との併用や就学時には学校との情報連携ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所との併用があり、お子様について電話や訪問等で情報共有や情報提供を行っています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・就学時には小学校にて支援内容やお子様の様子について情報共有を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、就学前に年長児の引継ぎを小学校と行っています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	2		<ul style="list-style-type: none"> ・深川市療育センターのケース会議に参加させていただき、支援についての助言やアドバイスを受け、日々の療育に活用しています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	2		<ul style="list-style-type: none"> ・現在利用されているお子様は地域の保育所に通っており、そこで交流することができている為、改めて当事業所で交流する機会を設けておりません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・ひかりでの様子は連絡帳を通じて伝えている。 ・気になることがあれば、都度お電話などでお伝えしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所直送迎を行っている為、主に連絡帳での情報共有になっています。活動内容や様子が伝わりやすいよう記載の工夫をしています。また、面談などで日々の様子をお伝えすると共にご家庭での様子も伺い、共通認識のもと支援を行っています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングは行っていないが、面談の中で相談、アドバイスを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングといった専門的なものではありませんが、個々の特性を踏まえた上での関わりや、子育てに関してのアドバイスなどをお伝えすることができています。 	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に文書を見ていただきながら丁寧に説明するよう心掛けております。なお、玄関ホールにも提示しておりますので、いつでもご覧いただけます。

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			・保護者様とお子様から意向やニーズをお伺いし、計画に反映させています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			・実際に計画書を提示しながらご説明させていただいております。各項目について丁寧に説明を行い、同意をいただいております。また、作成時には専門用語をなるべく使わないようにし、分かり易い内容になるよう工夫しています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・定期的に面談があり、そこでご家庭での悩みや困り感について伺うことができ、アドバイスをさせていただいた。	・ご家族からの相談には適時お答えしてきました。これからもご家庭での悩みや困り事などございましたら、いつでもお気軽にお声がけください。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		・兄弟参加も可能な親子レクを開催することで、保護者間、兄弟同士での交流の場となっている。 ・父母の会はない。	・親子レクを行うことで、保護者・兄弟同士で交流する機会を設けてきました。今後も定期的に開催し楽しんでもらえる活動になるよう尽力いたします。また、父母の会については今後ご要望がございましたら検討していきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・相談を承った際には、その場で助言させていただいたり、職員間で支援の検討を行い、その内容をご家族と情報共有するなど、適切に対応してきた。	・ご相談を受けた際には、迅速かつ丁寧に対応することを心掛けております。何かございましたら、いつでもお声がけください。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		・毎月1回ひかりだよりの発行や、Instagramにて活動の様子を発信している。	・お便りの他、本社運営のInstagramにて、写真や動画で活動の様子をお伝えしておりますので、ぜひご覧ください。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・Instagramやお便りなどへの掲載許可の確認、窓際に作品を飾る際には名前が外に見えないように配慮するなど、第三者の目に触れないよう配慮している。	・個人情報の取り扱いには今後も十分に注意して対応していきます。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・口頭のみでなく、LINEにて文字で残すなど配慮している。 ・説明時、口頭や文書だけでなく、写真やイラストを用いて、分かり易い情報の伝え方を工夫している。	・障がいの有無に関わらず、どの方にも伝わりやすい配慮を行い、スムーズに意思疎通が取れ情報共有できるよう対応していきます。
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	・ハロウィンパレードなどで地域住民と協力している。 ・地域の方にも参加していただいたハロウィンパレードや、商工会のイベントに参加し地域住民の方々にお越しいただける機会を設けた。	・開所から5年が経ち、地域にひかりがあることが住民の皆様にも浸透してきていることを感じます。今後も地域の方々と交流する機会を設け、風通しの良い事業所を目指してまいります。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・マニュアルの読み合わせを行い、職員間で内容を共有しています。 ・マニュアルに沿った訓練を実施し、非常時に備えている。	・定期的に訓練を実施しています。 ・ご家族にマニュアル内容を周知するに至っておりませんが、いつでも開示することができますので、ご希望の方はお問い合わせください。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	・定期的にお子さんを交えた複数の避難訓練や職員の消火訓練、防犯訓練などを行っている。	・避難訓練を実施しております。保育所を併用されているお子様ばかりですので、スムーズに避難することができました。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			・利用契約時に保護者様に確認しています。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	・医師の指示書は無いが、母からの聞き取りから提供する食物をチェックしている。不明な場合は都度保護者に確認して対応している。 ・児発では食事をとする場面がない為「いいえ」とした。	・保護者様からアレルギーの有無について聞き取りをしています。児童発達支援の中で食事の場面がありませんでしたが、行事などで食事やおやつを提供する際には、都度保護者様に確認するなど配慮しています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			・活動においてケガや危険のないように、点検や環境調整を行い、利用中安全安心に過ごせるよう工夫しています。
50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			・お子様の特性から予測されるリスクについてご家族と共有し、それに対する対応について保護者様とも共有しています。	

非常時等の対応	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・共有し、再発防止に向けて話し合っている。 ・ヒヤリハットは会議の中で検討をしている。 	・ヒヤリハットは大事な気付きと捉え積極的に職員間で共有しています。また、会議でも原因や再発防止に向けて検討をし、日々の関わりに活かしています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	・虐待チェックシートを活用し、職員間の情報共有、観察、関係機関と情報を共有しています。	・年間研修計画にも組み込み定期的に虐待研修を行っています。また、虐待を疑われる事案については職員間だけでなく関係機関にも共有し、包括的にサポートできる体制を整えています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	・虐待防止に関する研修で、何が良くて何が虐待に当たるのか定期的に全職員で学び、気を付けている。	・これまで身体拘束が必要な事案はありませんが、もし必要ではないかと思われる状況が発生した場合には、身体拘束虐待防止委員会にて検討する運びとなっています。決定された場合にはお子様や保護者様に十分な説明を了承をいただいた上での対応になります。また実施の際には個別支援計画に記載されることとなります。